

NEJM 勉強会 2015 年度第 10 回 2015 年 7 月 16 日 B プリント担当：吉原理紗  
 Case 18-2015: A 241-Year-Old woman with Decreased vision in the left eye and diplopia  
 (New England Journal of Medicine 2015 June 11; 372(24): 2337-2344)

★ 1. 間欠的な神経障害（全て左側のみの障害）

- 1-1. 視力低下、色覚異常、求心性対光反射障害、中心性暗点→視神経障害
- 1-2. 眼瞼下垂、複視→動眼神経障害
- 1-3. 頬の感覚低下→三叉神経第二枝障害
- 1-4. 外転障害→外転神経障害

★ 2. MRI における浸潤影

蝶形骨辺縁部、眼窩先端部、海綿状脈洞に浸潤する異常陰影

★ 3. 悪心、嘔吐、めまいによる？転倒の既往（三日前）

★ 4. 抗 Ro 抗体、抗核抗体 陽性

★ 5. 前額部の頭痛（七週間前）、左眼窩痛（二週間前から受診時まで持続）の既往

★ 6. CT での篩骨洞と蝶形骨洞の粘膜肥厚、上顎洞の air liquid level（五週間前）

